

事業報告書（第1期）

平成 26 年 11 月 1 日から

平成 27 年 9 月 30 日まで

I 概要：

当社団法人は『新木場・辰巳三丁目地区において、行政等まちづくりに係る関係者と連携を図り、地域の産業や水辺の自然環境等の資産を生かし、英知を結集して都市空間の適切な開発、利活用等を通じたまちづくりを展開する』目的のために法人格を有する組織として平成 27 年 10 月に設立いたしました。設立後、当社団法人の具体的活動組織である企画運営委員会に 3 つの検討部会（まちづくり検討部会、オリンピック・パラリンピック検討部会、安全・安心検討部会）を立ち上げました。

3 つの検討部会では企画運営委員会の副委員長 3 名を座長として起用、更に当社団法人の社員（設立時社員数 138 名）の中から各検討部会に 10 名前後の委員を選出すると共に『一般社団法人新木場再開発コンソーシアム』より研究員をアドバイザーとして招き入れ体制を整備いたしました。当社団法人の概要につきまして別紙のとおり纏めましたのでご参照願います。

各検討部会は平成 27 年 2 月より月 1 回のペースで検討会を開催して、先ずは情報の共有から始め、新木場・辰巳三丁目地区が抱える課題とその解決策を議論してきております。

各検討部会の検討内容の詳細について別紙のとおり取り纏めましたのでご高覧願います。

添付書類：

- ①『一般社団法人新木場・辰巳三丁目地区地権者協議会』の概要
- ② 各検討部会の検討内容報告書
 - ・まちづくり検討部会
 - ・オリンピック・パラリンピック検討部会
 - ・安全・安心検討部会

II 当社団法人の社員参加状況：

平成 27 年 9 月 30 日現在 社員 167 名

以上

事業計画（第2期）

平成27年10月1日から

平成28年9月30日まで

企画運営委員会傘下の3つの検討部会は相互に連携しながら次の通り課題、計画を定め具体的な活動を展開していきます。

1. まちづくり検討部会 平成28年度活動計画

- ①当検討部会が合アンケート調査した『新木場のまちづくりアンケート』の回答分析
- ②前記アンケート回答分析に基づくまちづくりの課題の設定
- ③課題に基づく具体的検討と活動

2. オリンピック・パラリンピック検討部会 平成28年度活動計画

①新木場駅前デッキ整備の検討及び提案

【検討課題】

- i) 木場駅周辺における交通渋滞、違法駐車や事故発生等の現況
 - ii) 2020年オリンピック・パラリンピック開催時の来場者の輸送計画
 - iii) 2020東京パラリンピックならびに将来を目指した地区バリアフリーのあり方
 - iv) 羽田空港アクセス線を始めとした鉄道・道路計画の動向
 - v) 新木場地区まちづくりの将来計画における歩行者動線計画
- ②当地区が育んできた「木の文化・伝統」を活かし、2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた地域における機運の醸成、開催時の支援、具体的なオリンピックレガシー（地区に生み出される持続的な効果）などについて江東区をはじめとした関係機関との協議

3. 安全・安心検討部会 平成28年度活動計画

前期に当検討部会が実施したアンケートの集計結果地権者の関心の高かった交通問題、防災（液状化）計画、治安の問題を分科会で対策の検討、具体的活動を行うこととする。

- ①交通問題：この課題は最も関心が高く、また他の検討部会と連携して検討する必要から、まちづくり検討部会、オリ・パラ検討部会からも委員を選出して合同分科会を構成して検討する。
- ②防災計画：特に液状化対策について検討する。
- ③治安問題：事務所荒らし対策、交番の設置の検討 以上